

## 【取組内容①】 タブレットの活用 3年 総合的な学習「ぼくも わたしも 紫波町はかせ 町の魅力 広め隊」



紫波町は、昔から伝わるものを今でも大切に受け継いでいます。特に、志和稲荷神社では、300年余り前、水田の水不足でたびたび争いが起き、今でも志和稲荷神社耳のかけた像があるそうです。型染で有名な「小田中染工房」もあります。ぜひ行ってみてください。



## 1 題材

紫波町の特色について探求する活動を通して、様々な町の魅力に気づくとともにふるさとへの親しみを感じながら紫波町のよさをより多くの人に広めていく活動である。

## 2 タブレットの活用法

①まち探検をしながら、地域の魅力を一人一人のタブレットカメラで撮影する。

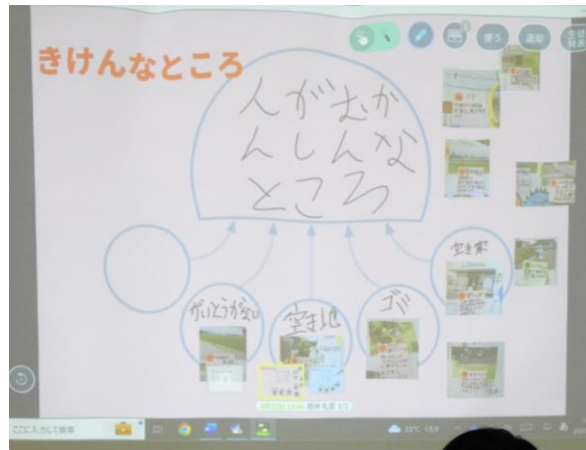
- ②持ち寄った写真を思考ツールで選択する。
- ③一人一人が考えたキャッチコピーや説明文を思考ツールで整理する。
- ④ポスターに表す。
- ⑤ポスターを使いながら、4年生に発表したり、役場に掲示したりする。

\* グループ交流が活発になされた。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立西の杜小学校（岩手県）

## 【取組内容①】 タブレットの活用 4年 総合的な学習 「レッツゴー！安心・安全なまちたんけん隊」



## 1 題材

地域の安全箇所や危険箇所を発見する活動を通して、自分たちの暮らしがどのように守られているかに気づき、住みよい町にするための工夫について考える学習である。

\* グループごとにタブレットを囲み、対話的な学びが促された。

## 2 タブレットの活用法

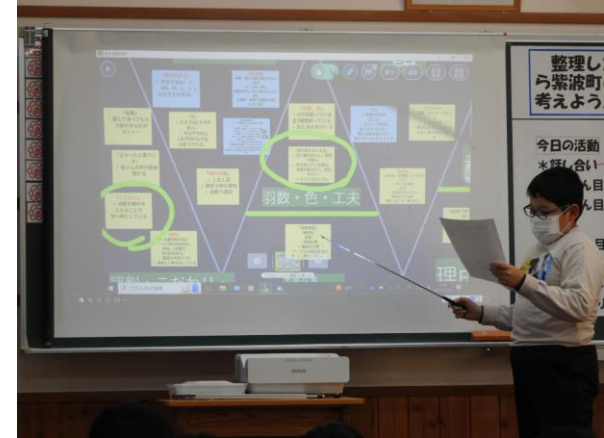
- ① フィールドワークの中で、地域の危険箇所と安全箇所を一人一人がタブレットカメラで撮影する。
- ② 写真を思考ツールで選定する。
- ③ 危険箇所の共通キーワードを思考ツールで考える。
- ④ 気づきやまとめをカードに表す。
- ⑤ まとめを3年生にプレゼンする。

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立西の杜小学校（岩手県）

## 【取組内容①】 タブレットの活用

## 5年 総合的な学習「ふるさとの産業を追究しよう」



## 1 題材

紫波町の産業を学習材として探究活動を行い、その魅力を発信していくことを通して、地域への愛着を感じたり地域社会に目を向けたりしていく活動である。

\* タブレットを囲むことで、グループ活動が対話的な学びとなった。

## 2 活用法

- ①インターネットで地域の産業を調べ整理する。
- ②ゲストティーチャーを取材する。その様子を撮影する。
- ③集めた情報を思考ツールに整理する。
- ④発表する。
- ⑤PRのチラシを作成し、紫波町の交流地の東京都日野市へ発送する。



## 【取組内容①】 タブレットの活用 6年 総合的な学習 「ふるさと・自分・再発見～時空を旅する総合学習～」



## 1 題材

紫波町と仙台市の特色を比べたり、紫波町の昔と今を比べたりする活動を通して、それぞれのよさや課題に気づくとともに、よりよい町づくりに向けた活動をしながら、今後の生き方やふるさとへの思いを深めていく活動である。

\*タブレットを囲むようにグループで活動し対話的な学びが促された。

## 2 活用法

- ①紫波と仙台の特色をまとめプレゼンする。
- ②紫波町のために尽くしている取組や人などを調べ、タブレットで撮影する。
- ③自分の考えを学習支援ソフトに整理する。
- ④よりよい町づくりのための考え、タブレットにまとめた自分の考えをもとに、交流する。
- ⑤プロジェクトを提言したり、実験したりする。

## 【取組内容①】 学習支援ソフト 思考ツールの活用



## 1 理科における思考ツール例

## ①【導入】 単元名「台風と天気の変化」

- ・ 台風について、初発の疑問や予想を思考ツール（左）に整理する。

## ②【観察・実験】 単元名「天気の変化」

- ・ 晴れを表わすものをインターネットで調べ思考ツール（左から2番目）に整理する。
- ・ 2日間の雲の様子を思考ツール（右から2番目）に整理し比較する。

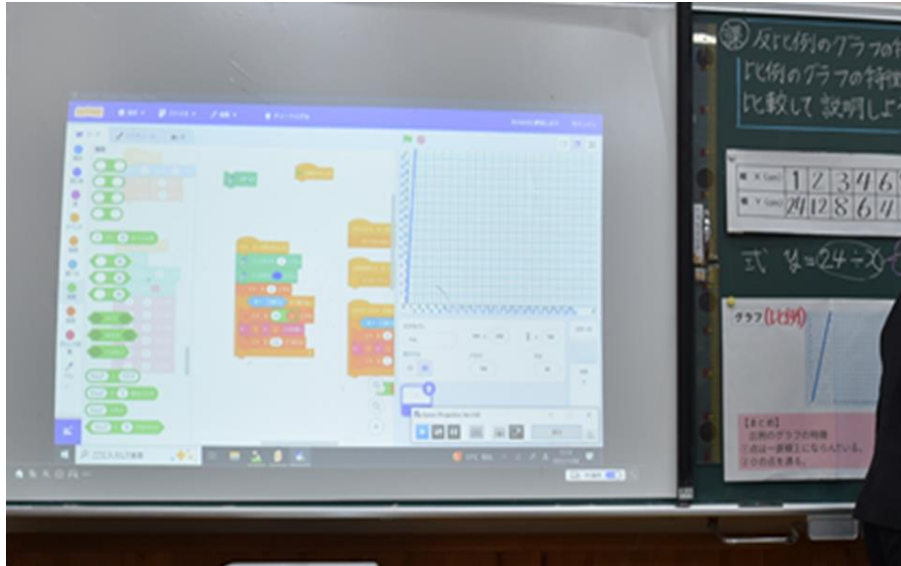
## ③【まとめ】 単元名「流れる水のはたらき」

- ・ 単元の学習履歴を思考ツール（右）に整理し、まとめ学習に活用する。

上記の例のように、授業の導入・展開・終末の段階で活用することができる。

## 【取組内容①】プログラミングの活用

## 6年 算数 「比例の関係をくわしく調べよう」



## 1 本時のねらい

伴って変わる二つの数量の変わり方に着目し、比例のグラフの表し方の特徴と比較しながら反比例の関係をプログラミングでグラフに表す活動を通して、反比例のグラフの特徴を理解している。

## 2 活用法

**ビジュアルプログラミング言語を活用し、プログラミングでグラフ化**

表をもとに $X \cdot Y$ のブロックに数字を入力するとグラフにプロットされる学習をする。

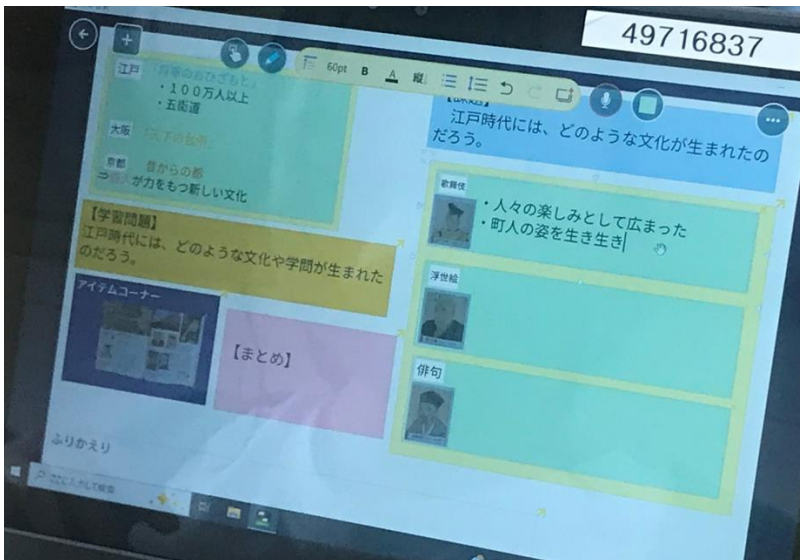
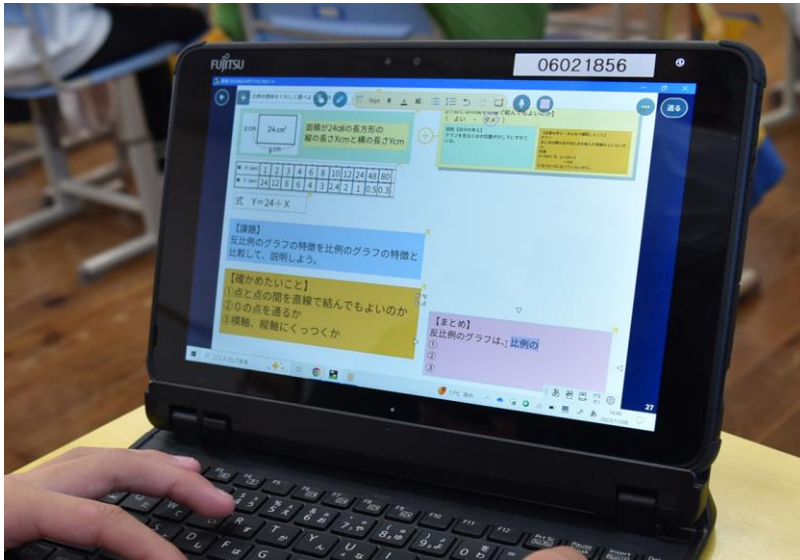
次に、式を入力すると比例だけでなく反比例のグラフに変換できることを学習する。

できたグラフの特徴を、表や式と関連づけながら考察する。





## 【取組内容①】 タブレットノートづくり 6年算数・6年社会



## 1 算数ノート

1枚のシートにまとめ、思考の流れを視覚化できる。

- ①問題文・資料の配付
- ②課題設定
- ③結果や気づきの記入
- ④交流
- ⑤まとめ・適用問題
- ⑥ふりかえり

## 2 社会科ノート

自分で調べた資料（写真やデータ等）を貼り付け、コンパクトに1枚のシートにまとめることができる。また、主体的に取り組むことができる。

- ①課題設定
- ②資料の配付（アイテムコーナー）
- ③調査枠の配付
- ④調べ活動
- ⑤交流
- ⑥ふりかえり

## 【取組内容②】 オンラインを活用しての授業 4年ふるさと学習「ふるさと！あたたかい町 たんけん隊」



## 1 ねらい

「だれもが安心な町」とはどんな町なのか、その実態を調べ、そのために自分たちができることを考える学習である。障がいのある方や介護福祉施設の取材、疑似体験などを通して、福祉における気づきを促す。

## 2 活用法

児童がグループごとに話し合った内容を提案し、そのことについて、オンラインでつないだ福祉施設長さんから助言をいただく。



## 3 効果

真剣に話し合った内容について、専門家から助言をいただいたことで、納得したことと次の課題の発見があった。さらなる追究意欲につながった。



## 【取組内容③】 校務の効率化 タブレットを活用した授業研究会



## 1 ねらい

小中一貫校として小中合同授業研究会をタブレットを活用しての研究会とし、校務の効率化と教員のスキル向上を図る。

## 2 活用法

- ①模造紙に付箋を貼るワークショップ形式から、学習支援ソフトを活用しての形式に変え、タブレットで共有しながら話し合えるようになった。
- ②感染拡大予防のため、小学校と中学校をオンラインで結んでワークショップ形式で行うこともできた。
- ③学校公開研究会では、参会者の質問意見を学習支援ソフトで整理・提示しながら話し合いを進めた。

## 3 効果

- ・教職員の学習支援ソフトの使い方が向上し授業での活用も積極的になった。

## 【取組内容⑤】 タブレットを活用した児童総会(3年～6年)



## 1 事例

4月の児童総会は、提案事項を印刷した紙資料を見て行っていたが、2月の児童総会では、3年～6年生全員がタブレットの資料を見ながら質疑応答をした。

## 2 活用法

- ①総会資料は、事前に共有フォルダにあげ、各学級の話合いの資料にした。
- ②質問・意見カードも共有フォルダにあげ、学級の話合いに活用した。記入したカードはクラス内で共有し執行部に提出した。
- ③児童総会では、タブレットの質問意見カードの回答を見ながら話合いをした。
- ④総会資料は、ステージのスクリーンに投影した。

## 3 効果

- ・印刷・丁合・配付など、総会資料の準備の軽減や話合いの時間確保につながった。
- ・円滑に話合いを進めることができた。